

国語教育相談室

98

中学校

特集

令和七年度版 中学校教科書の紹介



■国語

今、言葉にできることのすべてを。

■書写

手書きのよさって、何だろう。

光村図書

本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」にのっとり作成したものです。

内容解説資料



「ひく」? 「おす」?

早稲田大学教授 森山卓郎
もりやまたくろう

「風邪をひく」「ピアノを弾く」「豆を挽く」「線を引く」「値を引く」「鍋に油を引く」「惹かれる」。――漢字では使い分けがあるが、もともとの日本語としては一つの言葉だ。「ひく」の用法はなにげに広い。

もともと、「ひく」とは、典型的には、水平方向に、自分に近づく方向で、力を加えること(移動のこともある)。「綱引き」の「引く」は典型的だが、「線を引く」も水平方向の動きで、そこに軌跡を作る。「水道を引く」も、「線」の軌跡が敷設につながっている。ちなみに「長引く」は、時間の流れという「線」での「延長」だ。「納豆が糸を引く」は水平方向ではなく立体的に軌跡ができる。「風邪をひく」は、「悪い風を体に引き込む」病気ととらえられていた点でやはり「ひく」だ。

「ピアノを弾く」も「ひく」。楽器の中でも、「ひく」楽器には基本的に弦

がある。弦を引っ張って弾いたり弓を引いたりして演奏するからだ。

「豆を挽く」は、臼のようなもので水平方向での動きを「引いて」作りだし、その下に何かを置いて砕くことだ。挽きたてのコーヒーはいいが、「車に轢かれる」のは避けたい。交通安全のため、改めて心を引き締めましょう。「引いて内容をぬき取る」という拡張もある。「引き算」の「ひく」だ。この場合、中身が減る。「給料から」を引かれる」のは悲しいが、「三割引」みたいなうれしい「ひく」もある。おそろべし、「ひく」。

「心惹かれる」のは受動的だが、人やものに対して、「推す」という言葉もある。こちらは能動的だ。ただの「好き」ではない。「推し」は芸能人とかゲームとか小説とか、いろいろ「選ばれる」ものの中で自分が大好きで応援したくなるものについて言う。だから昼寝が

好きでも「私の推しは昼寝だ」とはふつう言わない。この「推す」も本来は「押す」と同じ言葉。皆に推薦したくて台の上にオシあげるような感覚で「推薦・応援する」わけだろう。方向は正反對だが、好みに関する比喩的表現として「力」のイメージがある点は共通している。

さてさて、「ひく」には反対の使い方もある。「あの人、変なことを言うので引いてしまった」というのがそれ。今度は、避けるように体を離すわけだ。「惹かれ」たり「引い」たり、忙しい。辞書等から引用するのも「引く」、辞書で調べることも「引く」。手許の『旺文社標準国語辞典』を引くと、「血の気が引く、会社を引く」など、ほかにも「引く」は大活躍である。いやあ、言葉はおもしろい。実に心惹かれる。でもこんなことでうれしがりすぎると、ちよつと「引かれ」ちゃう?

ものごとが変化するスピードがますます加速する現代。そんな中でも言葉のもつ力は変わりません。人と人、心と心、人と社会をつなぐ言葉。子供たちが言葉の力を信じ、言葉によって未来を切り開いていくために、私たちは「国語」の教科書にできることを追究しました。七十年以上もの間、言葉の力を伝え続けてきた光村図書。そんな私たちだからこそ提案できる新しい国語教科書をお届けします。

今、言葉にできることのすべてを。

令和七年度版 中学校『国語』



国語力を高める ― 課題を発見し、解決する言葉の力を

これからの時代に求められる「国語力」とは、「課題を発見し、解決するための言葉の力」だと、光村図書は考えます。それが確実に身につくよう、学習の手引きを一新しました。「読むこと」「教材だけでなく」「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材でも、この構成は共通なので、領域を超えて能力を育み、生かすことができます。

「読むこと」教材の「学びの扉」(学習の手引き)構成

「自分の学習の調整」のヒントとなる言葉

「学びのカギ」で示された学習を焦点化して示す。

評価規準は三観点(小中共通)
・知識・技能
・思考・判断・表現
・主体的に学習に取り組む態度

学習の流れ・中心がひと目でわかる

学びへの扉

文章の構成や展開の効果を考え、根拠を明確にしてまとめよう。[学習活動]
●筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。(知る)
●文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。(読む)

1 文章の構成と内容を捉えよう。

- ① 次の内容がどの段落に述べられているか、考えながら読もう。
② 筆者が立てた仮説
③ 仮説の検証 1 (一つ目の実験とその結果)
④ 仮説の検証 2 (二つ目の実験とその結果)
⑤ 結論
⑥ ⑦が書かれている段落を読み、筆者が、どのような事実を基に、どのような仮説を立てたかを簡潔にまとめよう。

2 文章の構成や展開の効果を、根拠を明確にして考えよう。

- ① 検証 1 と 2 について、次の観点で読み取り、表にまとめよう。
② 検証の目的 ③ 検証の方法 (〇〇して、□□ならば、……)
④ 実験・観察の手順 ⑤ 結果 ⑥ 結果に対する解釈・考察
⑦ なぜ「仮説の検証 2」を行う必要があったのかを考えよう。
⑧ この文章の構成や展開の効果を根拠を明確にしてまとめよう。

3 文章を読んで、考えたことを話し合おう。

筆者の検証方法や結論には説得力があるかどうか、話し合おう。

- 振返る
- ▶ 知る □ この文章で示された事実は、筆者の意見とどのような関係にあるか。
 - ▶ 読む □ この文章の構成や展開には、どんな効果があったか。
⇒ 「〇〇を根拠とすること」という言葉を使って述べてみよう。
 - ▶ つなぐ □ 仮説を検証する形で自分の意見を述べることを効果を挙げてみよう。

1 年 p136-137 「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」 手引き

学習の全体像と中心がひと目でわかる構成になっています。

黄色で強調した部分は、左ページの「学びのカギ」に示されたその教材で身につけたい資質・能力について、焦点化して学ぶ学習過程を示しています。

左右のページで役割機能を分割したため、紙面上でもわかりやすく、タブレット端末で表示する際にも一面で完結するようなレイアウトになっています。

学習のポイント(資質・能力)を図解で整理

137 筋道を立てて ●「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ

185 ページ 目的に応じた要約
137 ページ 構成や展開の効果
51 ページ 文章の構成
45 ページ 段落の役割

学びのカギ

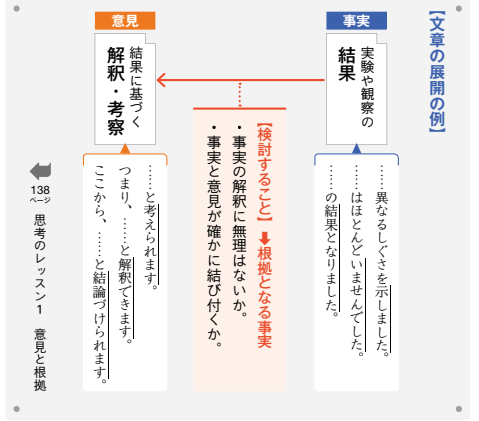
構成や展開の効果を考える

その事実は、意見を支えているか。
●意見を述べる文章では、筆者が客観的な事実を根拠として意見を主張したり、仮説の検証を経て得た確かな事実を基に考えを述べたりすることが多い。
●文章の構成や展開に説得力があるかを判断するには、根拠となる事実の解釈や、意見との結び付きに問題がないかを検討するよう。

「学習で用いる言葉」
仮説 ある現象を説明するために、仮に立てる説。
検証 実験・観察などによって得た事実と照合し、仮説を証明すること。

2 「学びのカギ」一覧

278 ページ 読者の「学びのカギ」一覧
278 ページ 読者の「学びのカギ」一覧



次に挙げた言葉の意味や使い方の違いを考えよう。
① 仮説・仮定・予想
② 検証・証明・裏づけ

学びのカギ

汎用的な学習のポイント(資質・能力)を、図解で整理しました。

① 一年間で学ぶ資質・能力を、タブで一覧できます。

② 資料編「学びのカギ」一覧、QRコンテンツ「学びの地図」(本誌P5)で、**学びのカギ**を検索し、既習の資質・能力を主体的に活用できます。

学びのカギ (資質・能力)で、**学びへの扉** (課題)を解決し、

集めた「カギ」を学びの中で活用する。これを繰り返すことで、実生活に生きる課題解決の力を育みます。

また、「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の三領域を通して **学びのカギ** の構造は共通しているので、領域を超えて学びの系統やつながりが見えるようになります。

個別最適な学びへー多様なQRコンテンツで、一人一人の学びに寄り添う

生徒一人一人の興味・関心や課題に応じて、自由に選択し、学校でも家庭でも活用できるQRコンテンツを収録しました。学びたいことに合わせて取り組めるコンテンツは三学年合計で350点以上。新しい試みとして、全国学力・学習状況調査で導入予定のCBT (Computer Based Testing) 形式の問題など、デジタル端末上に直接書き込めるコンテンツも多数収録しています。

表現テーマ例集

「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材に収録されています。生徒一人一人が、自分に合ったテーマを見つけるサポートをします。



作者・筆者インタビュー動画

作品が生まれた背景や、文章に込めた思いなどを語る書き手自身の声、表情に接することで、作品への興味がいっそう深まります。



学びの地図

各教材の「学びのカギ」(本誌P3)を一覧にしました。“これまで”の学びを“これから”の学びに生かします。



「文法への扉」ワーク

デジタルの特性を生かしたワークで、文法の基礎・基本を楽しく身につけられます。



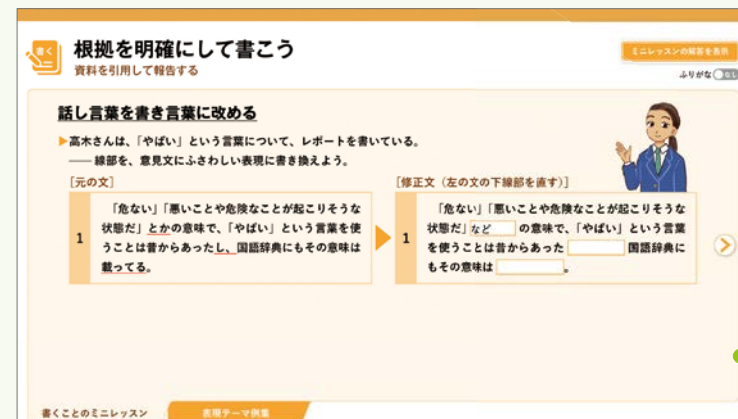
国語の力試し

各学年の巻末に掲載している領域別の確認問題「国語の力試し」に対応したQRコンテンツです。教科書掲載の問題と発展問題にCBT形式で取り組み、資質・能力が身についたかを確認することができます。自己採点することで、生徒自身が「何ができたか/課題は何か」を把握し、自らの学習の調整に生かすことができます。



書くことのミニレッスン

「書くこと」教材には、テキスト入力形式で解答できる練習問題を収録しました。書くことが苦手な生徒も、教材のポイントや文章上達のコツを短時間で押さえられます。授業の導入だけでなく、家庭学習でも活用できます。



QRコンテンツ一覧はこちら



ICT活用のヒント

各学年の後見返しには、学習の中でQRコンテンツやICT機器を活用すると効果的な場面を、一覧で示しています。また、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の各教材では、タブレット画面やアイコンで、ICT機器の活用方法や活用イメージをわかりやすく示しました。

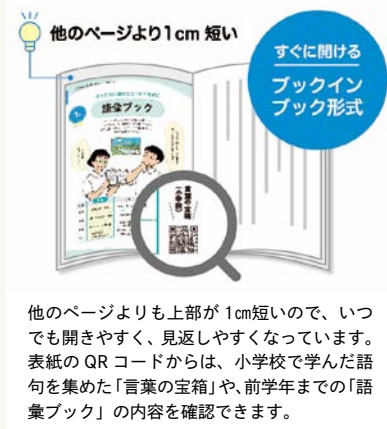
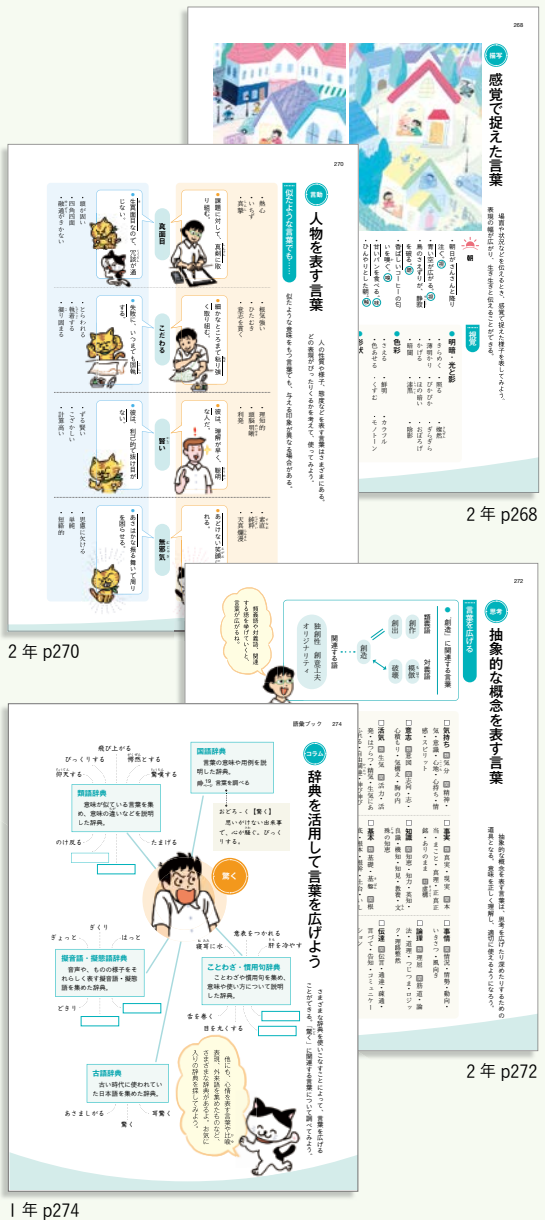


語彙力を高める ― 言葉の感性を磨き、思考力・表現力を培う

語彙力は、全ての学びにおいて、また、社会生活を営むうえで重要な力です。多くの言葉に出会い、自分の思考や感情を的確に言語化するために、そして言葉を通じて人や世界とつながるために、子供たちの語彙力を高める教材を用意しました。

語彙ブック

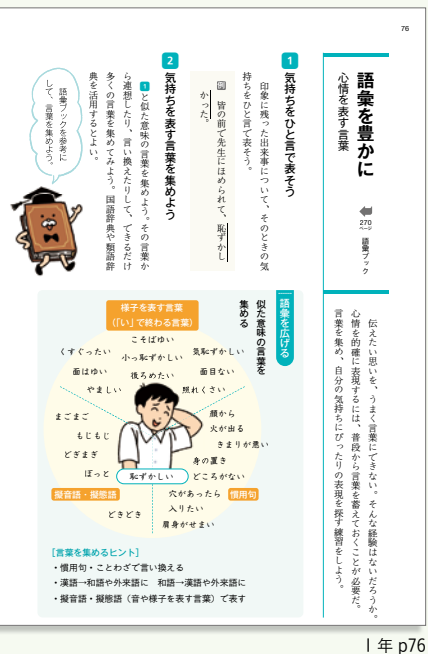
たくさんさんの言葉に出会い、自分の思いや考えにぴったりの表現を見つけるための新教材を、各学年の巻末に設けました。
「知っている言葉」を「使える言葉」にできるように、言葉を系統的に整理し、用例やイラストとともに文脈の中で学ぶ形にしています。
すぐに開けるブックインブック形式なので、本編の教材と行き来しながら活用できます。



他のページよりも上部が1cm短いのので、いつでも開きやすく、見返しやすくなっています。表紙のQRコードからは、小学校で学んだ語句を集めた「言葉の宝箱」や、前学年までの「語彙ブック」の内容を確認できます。

語彙を豊かに

主体的に語彙を広げ、語感を磨くための教材を各学年に位置づけました。語彙力を高める方法を具体的に示しています。



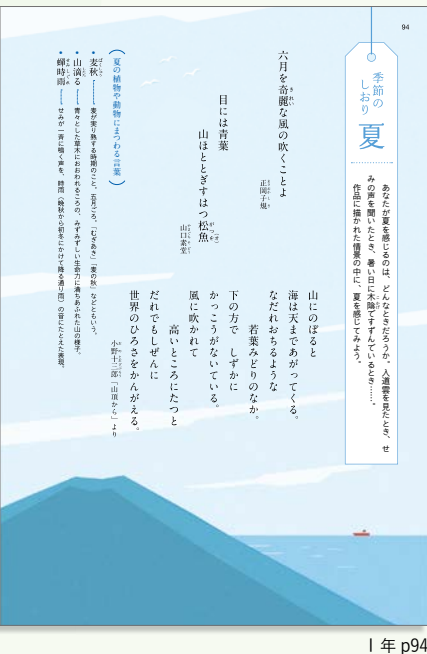
言葉の葉ポケット

「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域では、学習内容に応じた話型・文型を、「読むこと」領域では、「言葉」を切り口にした設問を豊富に紹介しています。



言葉を味わう

日本語の豊かさに触れる場として、中扉に「動きを表す言葉(1年)」「色の名前(2年)」「時を表す言葉(3年)」を紹介しています。



デジタル教科書・教材

デジタルならではの機能とコンテンツで、個別最適な学び・協働的な学びをサポートします。また、インクルーシブ教育を実現する道具としての活用や、先生方の授業準備等の負担軽減も可能にします。

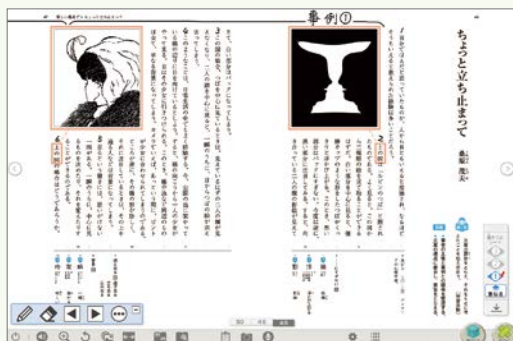
学習者用デジタル教科書＋教材

（★印は「＋教材」のみの機能となります。）

「どうぐ」ツール

段落の中心となる文にマーカーを引いたり、付箋を貼ってポイントを書いたりするなど、多様な書き込み機能を使うことができます。

書き込みを消すことも簡単なので試行錯誤しやすく、学習の記録を手軽に残すことができます。



紙面表示のカスタマイズ

振り仮名の表示や文字色・背景色の変更、機械音声による読み上げなど、教科書へのアクセスを助ける機能を多数搭載しています。

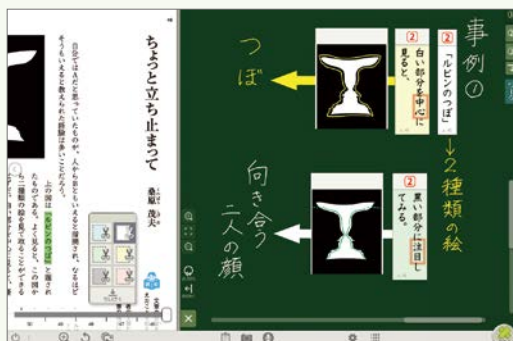
生徒一人一人の見え方・聞こえ方に応じてカスタマイズできるので、支援を要する生徒にも有効です。



マイ黒板★

読むこと教材の本文や挿絵・写真を抜き出し、カードに配置することができ、文章を書き出す負担を軽減し、考える時間を生み出します。

自分の考えを視覚化し、友達と対比することで、新しい気づきや学びが生まれます。



「振り返る」ポートフォリオ★

各教材の「振り返り」を学習ログとして蓄積し、一覧できます。蓄積した「振り返り」は、領域ごとに集約されるので、「自分の学びの調整」を生徒に促し、新たな学びへつなげます。

指導者用デジタル教科書とも連携できます。

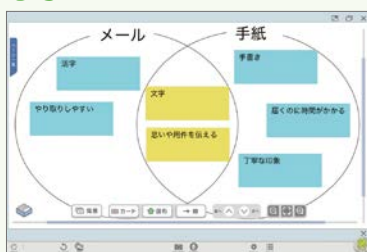


学習の目的や習熟度に応じて活用できる多様なコンテンツ★

動かしたり書き込んだりできる、デジタルならではのワーク資料を多数収録しました。

生徒一人一人が学習の目的や習熟度に応じて取り組めるよう、多様な形式・レベルの問題を用意しています。

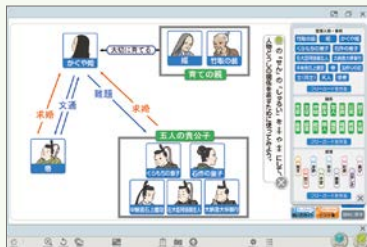
思考ツール



暗唱ワーク



人物関連図作成ツール



指導者用デジタル教科書（教材）

指導に役立つコンテンツやダウンロード資料などを多数収録しています。多彩なコンテンツは、生徒の学習意欲を高めたり、教材への理解を深めたりするのに役立ちます。また、先生の授業準備の負担を軽減し、授業づくりを支えます。

作者・筆者インタビュー



資料動画・写真



板書提示用スライド



「振り返る」ポートフォリオ



提出

クラウドで連携

閲覧・コメント

『「振り返る」ポートフォリオ』では、生徒が学習ログとして保存・蓄積した「振り返り」を、先生の端末から閲覧したり、生徒へコメントを送信したりすることができます。



手書きのよさって、何だろう。

令和七年度版『中学書写』教科書のご紹介
『中学書写』の編集委員である甲斐利恵子先生（軽井沢風越学園教諭）とともに、新しい教科書のポイントを紹介します。

学びやすく、教えやすい。

全教材に、学習の進め方を三つのステップで示しました。見通しをもつことで、主体的に学習に取り組むことができます。

学びのカギ

学習のポイントを簡潔にまとめました。

学習の進め方

- ① 考えよう
観察や比較を通して、文字の整え方の原理・原則を発見する。
- ② 確かめよう
「学びのカギ」に書かれた原理・原則を確認する。
毛筆で書いて、原理・原則を確認する。
- ③ 生かそう
硬筆で書いて、日常の文字に生かす手がかりとする。

何かを学び、習得していくには、「考えること」「言葉にすること」が不可欠です。
①②③の学習を通して、書くことと書く文字としっかり向き合うことで、生きて働く「書く力」が身につきます。



半紙原寸大

大きくわかりやすい教材文字で、学びやすさにも配慮しました。



1年 p56-57 「点画の変化」

書く力が確かに身につく。

中学校で初めて学習する「行書」を楽しく学べるよう、「行書スイッチ」を作りました。

子どもたちに「行書スイッチを入れるよ」と声をかけることで、すっと意識が変わる。行書の指導を難しいと感じてしまう先生でも、今までとは違った切り口で楽しく授業に取り組めそうですね。



行書スイッチ

行書の特徴を四つのスイッチにしました。「行書を整えて書きたい」という生徒の意欲を高めます。



1年 p54-55 「点画の変化」

豊かな文字文化に触れる。

文字文化の豊かさに触れる多様な教材をご用意しました。

新しい教科書には、文字というものが、いかに私たちの文化を支え、日常生活に彩りを添えているかが確実に伝わってくる教材がたくさんあります。文字のことがいとおしくなる情報が満載です。



1年 p146-147 「書き初めマスターブック」

書き初め マスターブック

書き初めの由来や書くときのポイントをまとめた「書き初めマスターブック」を新設！

- ① 書く準備をしよう
 - ② 教科書を分析しよう
 - ③ 配列をマスターしよう
- 好きな言葉を書こう



「全国文字マップ」

3年 p90



「全国フォント見つけ隊」

2年 p82

国語

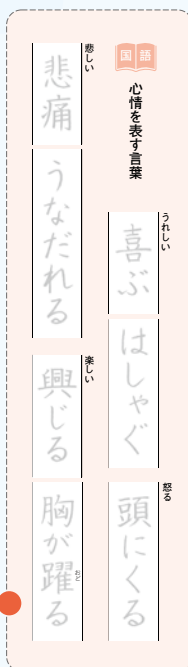
国語といっしょに学べる教材

国語教科書と連動した教材を、全学年に設定しました。国語と一体的に扱うことで、学習活動に必然性が生まれます。

国語で学んだ魅力的な言葉や文章を、整った楷書や流れるような行書で書けるなんて、嬉しいですね。



「季節のしおり」



1年 p9 「言葉を書こう！」

国語の新教材「語彙ブック」にも対応しました。

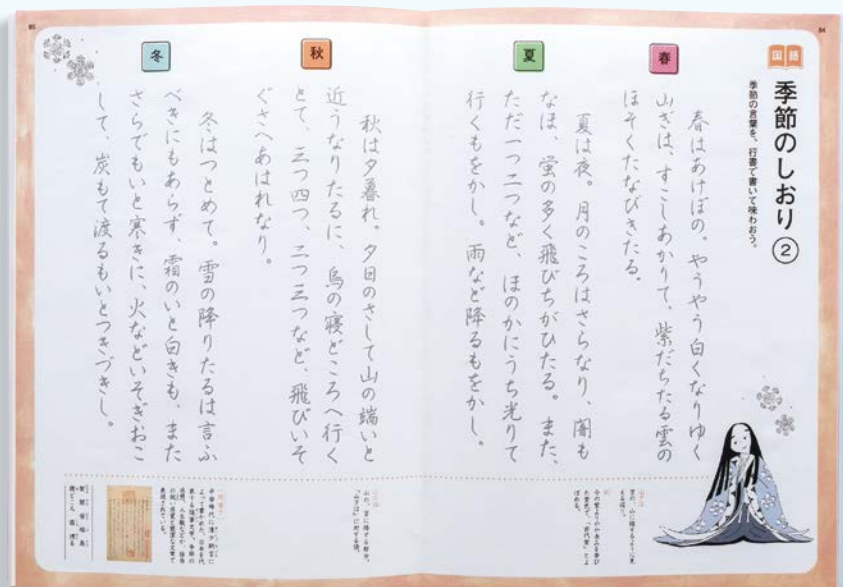
「書写ブック」



1年 p64

「情報収集の達人になろう」

国語と学習の進め方が同じです。



2年 p84-85 「季節のしおり② (枕草子)」



上から、斜めからの2アングルだから、筆使いがよくわかります。

筆使い動画



動画に直接リンク！

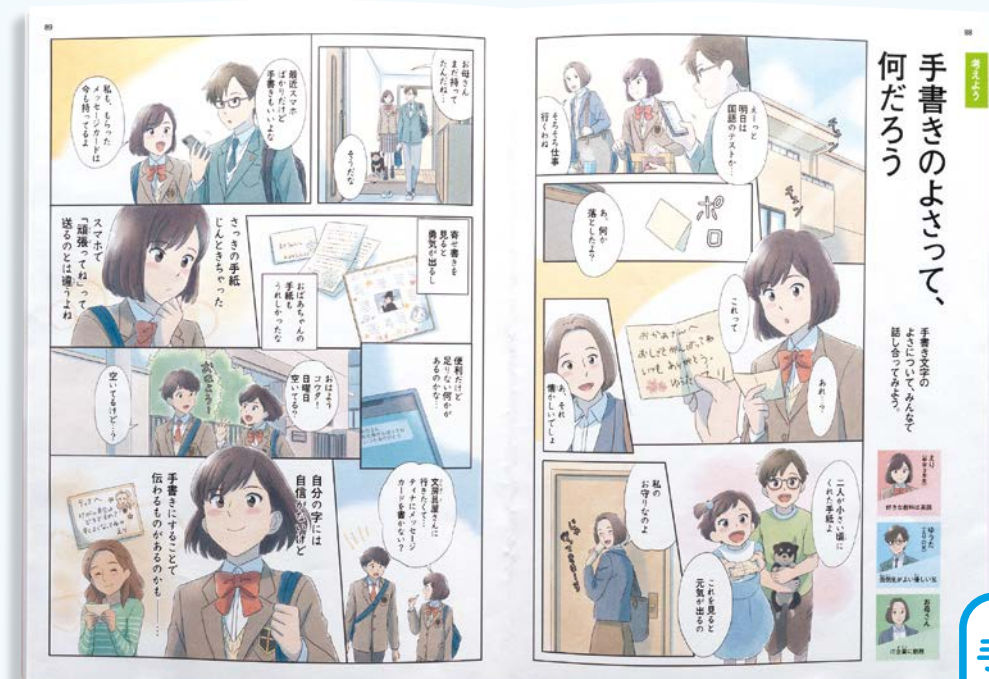
1年 p56-57 「点画の変化」

大充実！

QRコードコンテンツ

QRコードで学びが深まる

合計463点のQRコードコンテンツを収録しました。



3年 p88-89 「手書きのよさって、何だろう」

手書きのよさって、何だろう

手書きとデジタル、それぞれのよさや特徴について考える教材を新たに設けました。
光村図書中学校英語教科書『Here We Go!』で絶大な人気を誇るキャラクターたちが登場します。



山梨大学名誉教授
光村図書 書写教科書編集委員
宮澤 正明

今、デジタル化が急速に進む社会の中で、手で文字を書く価値や、書写を学ぶ意義が問われています。しかし、私たちの日常は、文字なくしては成り立ちません。「相手意識」をもって書くプロセス自体が書写学習の意義であり、教科の枠を超えて、必要不可欠なコミュニケーション力の土台ともなります。新しい教科書には同時に、デジタル端末で効果的に学習を進められるよう、さまざまなコンテンツを用意しました。実は、書写はデジタルと親和性の高い教科といえるのです。



指導書付属！

手本文字作成ソフト「お手本くん」

半紙手本・名前手本が教科書教材と同様の文字で簡単に作成できます。

文字を新規追加！
楷書・行書
に対応！



新キャラクター「お手本くん」

手本印刷



【対応する文字】常用漢字 2136 字／人名用漢字 863 字／ひらがな／カタカナ

名前印刷



【対応する文字】常用漢字 2136 字／人名用漢字 863 字（一部異体字にも対応）／人名でよく使用される漢字／ひらがな／カタカナ

国語

4つの特色

- 1. 知識力
- 2. 読解力・批判的思考
- 3. 想像力
- 4. 表現力

※ 国語デジタル教科書・教材

※ 国語教材

※ 国語ダウンロード資料

※ 教科書づくり7つの視点

※ 学校生活や社会生活に役立つ資料

国語

今、言葉にできることのすべてを。

変化の激しい時代。
正解が一つとは限らない時代。
だからこそ、
今、言葉にできることのすべてを、
渾身の力で伝えたい。
子供たちが、言葉の力で課題を解決し、
未来を切り開いていけるように。
私たちは教科書に、そんな願いを込めました。





令和7年度版の教科書を
コンパクトに解説した
特設サイトが4月中旬に
オープンします！

書写

3つの特色

- 1. 学びやすく、教えるやすい。
- 2. 書く力が確かに身につく。
- 3. 豊かな文字文化に触れる。

※ QRコンテンツ

※ 国語デジタル教科書・教材

※ お手本くん

※ 国語教材

※ 国語ダウンロード資料

※ 教科書づくり7つの視点

※ 学校生活や社会生活に役立つ資料

書写

手書きのよさって、何だろう。

いま、改めて、
子どもたちといっしょに
手書きのよさを考える。
そんな一冊を作りました。






※ウェブ体験版は、お使いのスマートフォンの機種によって、ご利用いただけないコンテンツがございます。

- ✔ 教科書の特色をコンパクトに解説
- ✔ デジタル教科書・教材のご紹介とウェブ体験版^(※)
- ✔ 光村図書が教科書づくりで大切にしている7つの視点のご紹介
- ✔ 「年間指導計画・評価計画資料」などのダウンロード資料

光村図書
ウェブサイト

光村図書

検索



小・中・高等学校
教科書訂正の
お知らせ



光村図書 LINE
公式アカウント
友だち募集中！



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C194784

中学校 国語教育相談室 98号 2024年4月20日発行

発行者 吉田直樹
発行所 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話：03-3493-2111
www.mitsumura-tosho.co.jp
印刷所 株式会社 加藤文明社
デザイン mg-okada

個人情報の取り扱いに関しては、弊社「個人情報保護方針」の通り、適切な管理・保護に努めてまいります。
詳しくは、光村図書ウェブサイトをご覧ください。

【教育情報誌に関するお問い合わせ先】
住所変更・配送停止：ej1@mitsumura-tosho.co.jp
ご意見・ご感想：koho@mitsumura-tosho.co.jp

